

別紙

電気使用量の誤通知及び託送料金の誤請求の概要



2019年10月8日



< 電気使用量の誤通知、託送料金の誤請求の内訳 >

接続送電サービス ¹	誤通知	誤請求 (誤通知の内数)
標準接続送電サービス	80,390 (件)	0 (件) ²
時間帯別接続送電サービス		64,744 (件) 約480 (万円)

- 1 接続送電サービスとは、託送供給等約款に基づき当社と小売電気事業者さまが締結した契約種別
- 2 標準接続送電サービスの電力量単価は、時間帯に関わらず一律なため、託送料金の誤請求は発生しない

< 電気使用量の誤通知、託送料金の誤請求となる3条件 >

2016年4月から2019年9月までの間に小売電気事業者さまとの低圧の契約を開始またはスイッチング（切替え）した（特定小売供給約款の料金プラン³を除く）。




従来から設置されていた計量器がスマートメーターや旧型の誘導型計量器ではなく時間帯区別の計量器⁴だった。

新しい契約を開始した日からスマートメーターによる計量を開始できなかった。

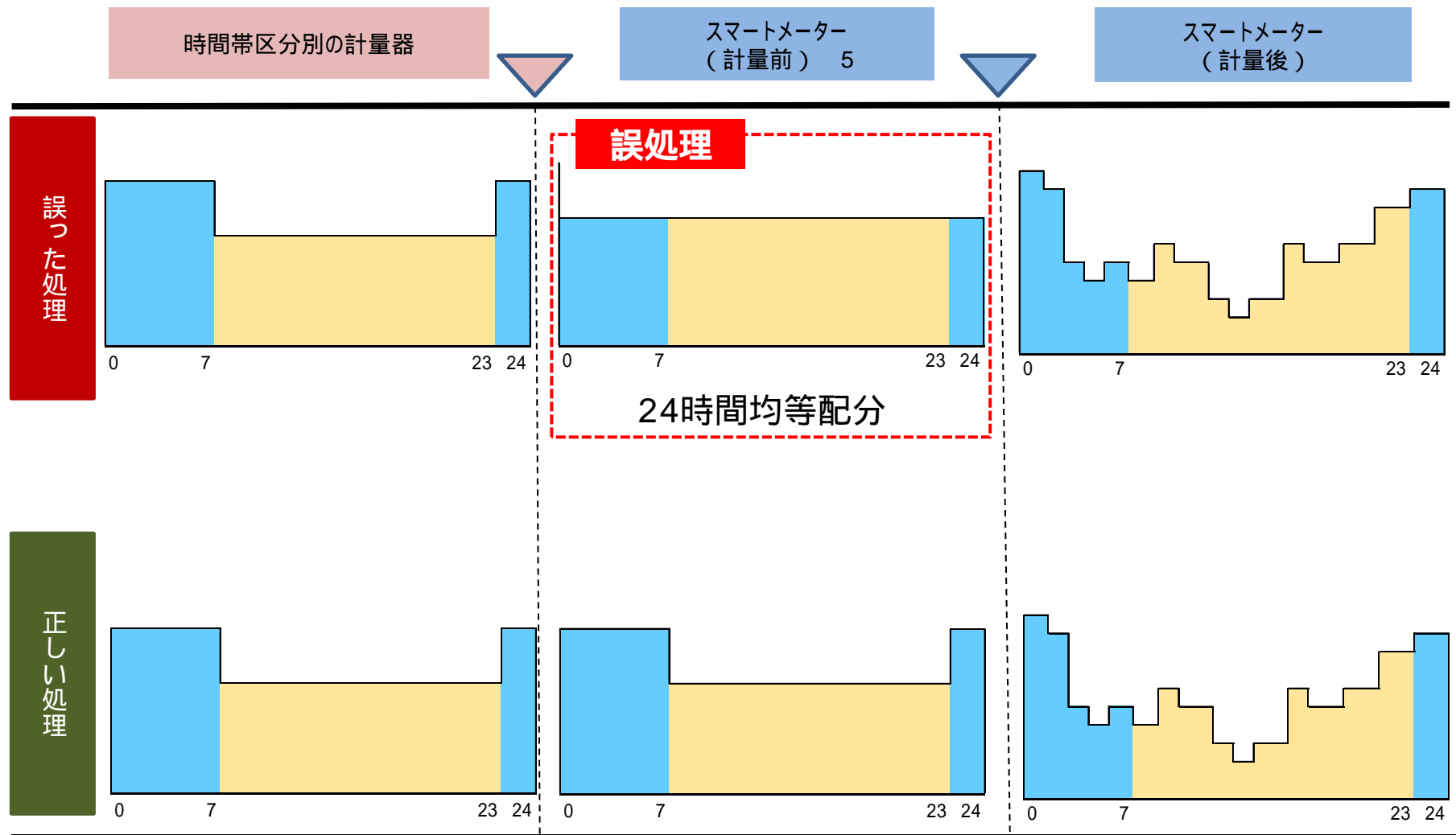
- 3 東京電力エナジーパートナー株式会社が定める2016年3月以前からある規制料金プランのこと。
- 4 電気使用量を電気料金プランの時間帯ごとに計量できる計量器（スマートメーターを除く）のこと。



(参考) 計量器の種類

スマートメーター	旧型の誘導型計量器	時間帯区分別の計量器
 A modern smart meter with a black plastic casing. It features a large LCD display at the top showing the number '8888.88'. Below the display is a QR code and some small text. The meter is mounted on a light-colored wall.	 An older induction meter with a transparent plastic cover. The internal mechanical components, including the aluminum disk and coils, are visible. A white label at the top shows the number '0442.7'. Below the cover, there is a metal base with a white label that reads 'No. 0753 659'.	 A time-of-use meter with a grey plastic casing. It has a small LCD screen in the center. Above the screen, there is a red horizontal bar with the number '3'. Below the screen, there is a white label with the number 'No. A13 0201 258'. The meter is mounted on a wooden surface.

(参考) 時間帯別に電力量を配分する処理の誤りイメージ



5 計量前とは、電力広域的運営推進機関が提供するスイッチング支援システムによりスマートメーターの設置が確認できない場合。

本事案の原因及び再発防止対策



< 本事案の原因 >

- スマートメーターへの取替が間に合わない場合の取扱いについて、当社と小売電気事業者さまとの間で締結している契約書の中で具体的に記載しているにもかかわらず、当社内の業務取扱い（マニュアル）への反映が一部漏れており、それをチェックできなかったことによるもの。

< 再発防止対策 >

- 本事案の把握以降すみやかに業務取扱い（マニュアル）を変更して新たな発生を抑止した。
- 本事案を受け、同様の誤りが無いか確認するため、業務担当役員を責任者とした体制を整備して調査等を実施する。